

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」河内松原校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切である。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			適切ではあるが、入れ替わりも多い。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		障害はないフラットだがバリアフリーは十分とは言えない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		会社として取り組みつつあるが浸透できていない。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			意見を活かして改善している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ、事業所内閲覧により公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内の定期研修の機会を月 1 回以上設けている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ニーズや課題をもとにサービス支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールにて聞き取りを行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		支援計画をもとに担当者が立てている。相談・アドバイスは常々行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			本人のニーズや状況によって変えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		状況に合せた対応を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		集団のニーズの高い子どもは集団イベントへの参加や学校等との連携を図っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		日々ミーティングを行うようにしているが個々で把握していることも多く十分に行えていない。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		日々ミーティングを行うようにしているが、個々に把握していることも多く十分に行えていない。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々支援の記録を漏れなく記入している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリング及びサービス計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○		個別療育のため、発達支援に傾倒しているが、家族支援も必要に応じて行っている。
関係機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管及び担当者が参加するようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		個々の状況に応じて行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的なケアが必要な場合は連携していく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		個々の状況に応じて行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		必要に応じて行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		必要に応じて行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	事業所としては行っていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加できていないが今後参加していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の振り返り等、常に行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	行っているが、職員によって対応に差があるので情報共有を図り対応を強化していく。
保 護	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明している。

者への説明責任等	⑳	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		行っているが、職員によって対応に差があるので情報共有を図り対応を強化していく。
	㉑	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	実施できていないので、今後機会を作っていく。
	㉒	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		迅速に対応していくよう努めていく。
	㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	カレンダーでのお知らせのみなので定期的な活動報告が発信できる媒体を考えていく。
	㉔	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取扱いに十分に注意している。
	㉕	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々に対応できるよう配慮に努めている。
	㉖	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域との交流の仕方について今後検討していく。
非常時等の対応	㉗	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		十分に周知できていないので閲覧できるような方法を整えていく。
	㉘	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			テーマを変え月に1回程度行っている。
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年1回以上、会社のブロックの事業所合同で行っている。
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を行う場合は上記虐待研修でも周知しているとおり、手順をきちんと行った上で実施するようにしている。
	㉛	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		食事提供はないが、情報として確認している。
	㉜	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハットがあった場合は共有しているが事例集の作成までは行っていない。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」河内松原校

保護者等数（児童数）：16回収数：13割合：81%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	2	1	もっと利用したいとの要望があるが、定員があるので他の方との兼ね合いもあり難しい。空いた時にお知らせし、利用を増やしていく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	2	1	職員の定着を図り、福祉や療法的な観点も含め、職員個人ではなく事業所として答えられるようにしていく。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	4	0	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	13	0	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	13	0	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	6	4	
保護者への説明	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	1	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1	0	

明 等	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	4	6	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	6	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	4	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	13	0	0	
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	3	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	5	4	毎月行っているが、計画や実施状況など伝えていなかったため、お知らせなどの掲示をしていく。
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	10	2	1	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	9	1	1	担当によって満足度の差があったりするので、情報共有し、事業所として満足してもらえるよう対応していく。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。